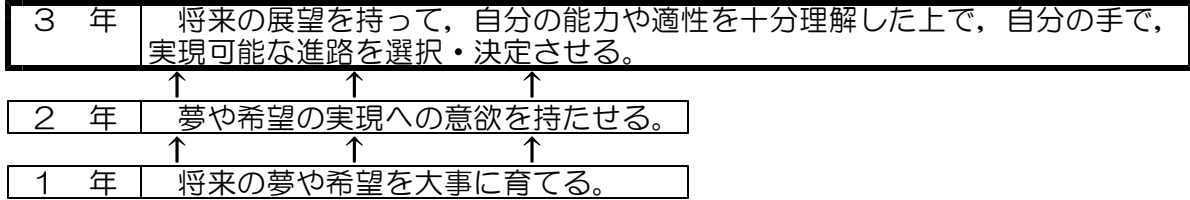




☆PTA資料「3年生の進路指導について」☆

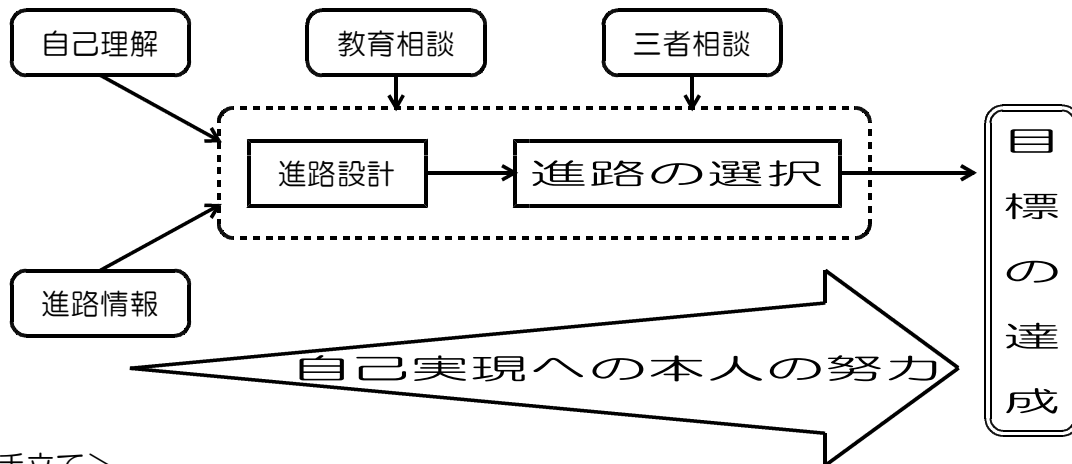
1 進路指導の各学年の段階



2 進路指導の目標

生徒自ら (1) 進路に関する計画を立てる。 (2) 上級学校や職業の選択をする。
(3) 将来の生活に適応し、進歩するのに必要な能力を伸長する。

<目標達成までの流れ>



<主な手立て>

- ① 進路学習の充実
- ② 進路情報の収集と整理、分析
- ③ 教育相談、進路指導の充実
- ④ 保護者との密接な連携
- ⑤ 諸検査、調査、テストの実施、分析

<指導にあたって>

- ① 生徒一人一人に、今年は「進路決定の年」であり、「受験生」であることを深く自覚させる。
- ② 進路希望を明確にし、自己の能力や適性などについて客観的な自己理解を深めさせる。
- ③ たえず生徒一人一人の理解に努める。適切な進路選択の情報を提供し、助言に努める。
- ④ 励ましあって伸びる人間関係を学級、学年をつくる。

3 保護者としての進路についての心構え

◎ よき進路の助言者として

- ① 子どもの特徴をよく知り、個性を多面的にとらえる。
- ② 子どもの気持ちを大切にして、話し合っ解決する。
- ③ 学校（教師）との連携をしっかりとる。
- ④ 勇気を持って見栄、体裁から離れ、子どもにとって真の幸福とは何かを考える。

↑ ↑ ↑

親は自分の経験や考えをもとにして、わが子の成長を願い、よき助言者として、進路が自ら決定できるように援助する。

◎ 親も自分の年間計画を立てましょう。(子どもに何をしてやれるのか)

「思えば長いようで、実に短い中学時代でした。中でも3年生の1年間はあっという間に過ぎたような気がします。」

卒業式などでよく聞かれることばですが、親や教師にとっても同じことだと思えます。したがって、親も自分なりの年間計画を持つとよいと思えます。そうすれば、追われるのではなく、先を見通した指導や子どもとの接し方ができます。もちろん親の年間計画ですから、あくまでも腹づもりとして持っていればよいわけです。それがあるとないのとでは、子どもへの接し方がずいぶん違うのではないのでしょうか。



◎ 子どもをだめにする「6ヶ条」

(1) 過保護型

心理的離乳ができていない。独立心の欠如、ひとりでは何もできない人間ができる。

症状・・・責任回避型、無気力型、他人依存型

(2) 兄弟間の差別型

症状・・・ひがみ、粗暴型

(3) ほうび型

自己のコントロールができなくなり、功利的な子になりやすい。

「勉強したら・・・、〇〇点とったら・・・、◎◎を買ってやる。」

(4) 親の過剰な期待型

自分の果たせなかった夢をこの子に！子どもに心理的重圧(プレッシャー)をかける。

症状・・・ノイローゼ、自殺、非行(逃避傾向)

(5) 隣の芝生型

親の見栄、世間体「〇〇さんの家の〇〇さんは、〇〇高校だから、あなたも・・・。」

症状・・・あきらめ型、居直り型(やけくそ)

(6) 無責任型、無関心型

症状・・・非行型、遊び型、無感動型(しらけタイプ)

進路指導 = 生徒指導, どんな子に育つか, 育てるか。 → 生き方指導

4 健康管理

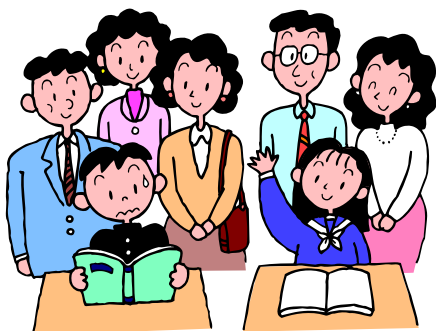
受験を乗り越えるということは、マラソンのような長い苛酷なレースに似ています。それには、まず「健康」と「粘り強い意志」が大切です。健康を維持増進させるには、「睡眠」・「栄養」・「リズム正しい生活」・「適度な運動」のバランスが必要です。

(1) 寝る時刻(「眠る時刻」の方が適するが)と起きる時刻をできるだけ一定にしましょう。日曜日の極端な朝寝は禁物です。睡眠時間は、少なくとも6時間はとりたいです。

(2) 食事はできるだけ時間をかけてしっかり噛んで食べましょう。好きなものだけに偏らないように、できるだけ多くの食品をとりたいものです。偏食はできるだけなくしましょう。栄養の偏りをなくすばかりでなく、健康のために小さな我慢を積み重ねることによって強い意志を培うというメリットがあります。

特に気をつけたいのは、糖分の摂りすぎを避けることです。朝から甘いジュースと菓子パンといったようなことは、身体的にも精神的にも粘りをなくすもとになります。(糖により大切なカルシウムが奪われ、疲れ易くなったり覇気に欠けることになります。)

(3) 生活のリズムをつくるには、一日の生活の中で、一ヶ所か二ヶ所、「その時刻にはこれをする」というものを決めて、できるだけ守ることで、就寝・起床・食事などがいいでしょう。塾のある日とない日でリズムが大きく変わるといのは、できるだけ避けたいものです。何を決めるかは本人の意志です。決めたらじっと見守ってやること、ひかえめな援助をしてやることです。度重なる小言は禁物です。せっかくのやる気も消えてしまいます。



(4) 「快食・快便・快眠」をモットーに!

生徒にとっても、保護者にとっても、教師にとっても大変ですが、やりがいのある1年です。「小言より励まし! 叱るより誉める!」心を大事にして、生徒達のやる気の燃える一年としたいものです。